

## 職員提案票

令和3年5月14日

所 属	提案者職氏名
阿山支所振興課	主幹 福西 高英
1 提案事項 (タイトル) 25文字以内	「資源・ごみ収集カレンダー」裏面の有効利用について
2 提案の背景・現状分析 (何が問題か)	
「資源・ごみ収集カレンダー」は伊賀市が毎年、各戸配布している資料であり、どこの家庭でも目に付く場所に掲示していることが推察されます。現在この「資源・ごみ収集カレンダー」の裏面は白紙となっており、利用の余地があると思われま	
3 提案の内容 (何をどうするか)	
裏面の白紙を利用し、非常時及び緊急時の連絡先や、救助に必要な医療情報等を記載できる「緊急情報メモ」が有効と考えています。 裏面の内容は家族の情報や、緊急連絡先、かかりつけの医療機関や常備薬等、その他必要な情報の記載できるようにします。	
4 実施することで期待される効果やメリット (結果的にどうなるか)	
① 見つけやすさ・・・「資源・ごみ収集カレンダー」はB3サイズ364×515mmとサイズも大きく、緊急時に発見しやすく、必要な情報を素早く得ることができます。 ② 更新機能・・・伊賀市社会福祉協議会が実施している「わたしの安心シート」と機能が重複する点もありますが、「資源・ごみ収集カレンダー」は毎年配布されるので、「緊急情報メモ」の情報も毎年更新されることになり、医療情報や緊急連絡先等を毎年更新することで緊急時のリスク軽減につながります。 ③ 連絡先の保管機能・・・近年、個人の緊急連絡先は携帯電話やスマートフォンに記録していることが多く、停電時のバッテリー切れや、故障・紛失時に対応できないことが懸念されますが、「緊急情報メモ」に記載しておくことで解消されます。 他にも防災に関する情報を記載する等、多様な利用形態が考えられます。	
5 実施にあつて想定される問題点やリスク (実現するために必要なこと)	
裏面の印刷費用が掛かること。(参考見積より通常費用の約1.5倍) 利用方法の周知をどうするか。	